

単元名 物語の音楽を楽しもう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付くことができる。
 (2) 楽器の音色、旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや楽しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。
 (3) 各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070208_001

【教材名】ピーターとおおかみ（鑑賞）

(P. 60～P. 61)

【準備等】鑑賞CD、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「ピーターとおおかみ」を聴き、物語の音楽を楽しむ</p> <p>○教科書の挿画で登場人物と楽器を確認しながら全体を聴き、気付いたことを交流する。 ★物語の音楽を楽しもう</p> <p>○各キャラクターと結び付けながら、各楽器についても一度確認する。 ・勇敢な少年ピーターの主題（弦楽合奏） ・ピーターの親友の小鳥（フルート） ・狼に飲まれてしまうアヒル（オーボエ） ・小鳥をねらう猫（クラリネット） ・ピーターのおじいさん（ファゴット） ・森の大きな灰色の狼（3本のホルン） ・狩人たちの鉄砲の音（ティンパニ）</p> <p>○物語のあらすじをふまえ、場面の様子を想像しながら聴く。物語を表すために、どのような工夫があったか気付いたことを交流する。</p> <p>○登場する人物や動物を表す音楽の特徴や楽器の音色に気を付けて聴いたり、場面の移り変わりによる曲想の変化に気付いたりして聴く。</p>	<p>・作曲者がプロコフィエフであることと、オーケストラによる音楽で表現されるおとぎ話であることを押さえる。</p> <p>・映像や絵本などを活用し、より一層親しんで鑑賞させるとよい。</p> <p>【評】各キャラクターの表現や、物語の音楽を聴く活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・鑑賞CDの説明を聴きながら、順に確認していく。</p> <p>・教科書の楽器の写真を見せながら確認する。実物があれば、見せたり、音色を聴かせたりするとよい。</p> <p>・P 75にも管楽器の紹介を参考にしてもよい。</p> <p>・「まなびリンク」の画像を活用してもよい。</p> <p>・既習の「ユモレスク」「白鳥」で弦楽器や、「アルルの女」でフルートを想起させるとよい。</p> <p>・登場する人物や動物の性格を表している主題や楽器の音色に注意して聴くよう声掛けをする。</p> <p>【共通事項】音色 旋律</p> <p>・気付きをワークシートなどでまとめてもよいが、あまり分析的な鑑賞に陥らず、曲全体を味わい、音楽物語を楽しみながら、一人一人が聴く楽しさに浸れるようにする。</p> <p>【評】曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりを捉えながら聴く活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>・強弱や速度の変化が、登場する人物や動物の行動や気持ちの変化、その場の状況を表していることに気付かせる。</p> <p>【共通事項】変化</p> <p>【評】楽器の音色、旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら聴く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する</p>

【 備 考 】